



トルクシリーズ part.3

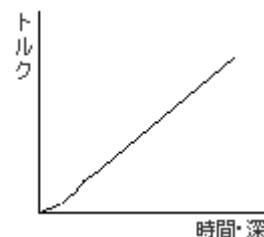
● トルク曲線って 何？

木にネジをねじ込む時を想像して下さい。

だんだん固くなっていきますね。これはねじ込みに必要なトルク(廻す力)がそれだけ大きくなっていくわけです。

グラフにすると、右のようになるのでしょうか。

縦軸は“トルク”。横軸は“時間”(手で締めている時を考えると、“深さ”でしょうか)



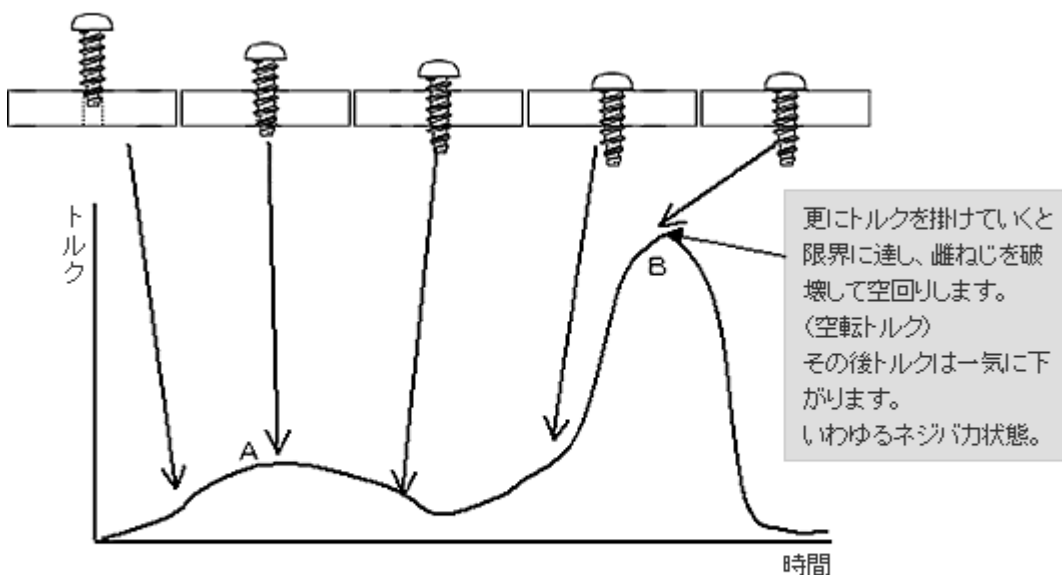
● トルク曲線の一例

5月に展示会(テクノピア)に出展し、トルクアナライザーという機械を使ってトルク曲線を説明致しました。

下穴を開けた樹脂の板に、タッピンねじを電動ドライバーを使ってねじ込む際のトルクです。

どんなグラフになるか、予想してみてください。

雌ねじをたてながら入って行くのでトルクは徐々に上がります。＜雌ねじ形成段階＞



雌ねじ形成が終わるとき、ひとつの山の最大値となります。
＜雌ねじ形成段階＞

雌ねじが出来上がっているので、小さなトルクでねじ込めます。

頭が着座すると、トルクは一気に上がり始めます。
＜締め込み段階＞

“A”は樹脂に雌ねじをたてて入っていく際に必要とするトルクの最大値です。

“B”は空転を起こすトルクです。

ユーザーが設定するトルクはA以上B以下でないといけません。工具やネジのバラ付きを考慮に入れると、中間点ぐらいに設定するのがベストです。

そして、ネジ屋のプロとしてはAとBの差が大きいネジをお勧めするのが、正道会館かと……ウスッ！